

平成20年1月30日

会員各位

(社) 日本自閉症協会茨城県支部長 高山 孝信

担当 深堀 淳子

サポートブック作成ミニミニ講習会のお知らせ

茨城県では県保健福祉部障害福祉課と教育庁特別支援教育課が中心となって、平成17年度より発達障害者支援体制整備検討委員会が設置され、筑波大学宮本信也先生の委員長のもとに、医療福祉・教育・労働関係者、親の会3団体が一同に集まり、発達障害者を支援する施策について協議してまいりました。(社)日本自閉症協会茨城県支部(ASイバラキ)も親の会として参画がみとめられ、深堀とNPO法人アシタバ代表の細川と共に委員として参加しております。

その成果としては、平成17年12月より「早期発見・支援システム」を試行的に開始。発達障害に気づき、早期に発見するためのスクリーニングの参考とするためのマニュアルを作成、県立子ども病院及び県立医療大学付属病院には発達障害専門外来日が設置されました。

平成18年度には(社)日本自閉症協会と一緒に「発達障害者地域支援マニュアル」を作成。平成19年8月にはこのマニュアルを使っての研修会が行われました。

昨年末には19年度第1回検討委員会が開かれ、「サポートブック」について協議しました。

「サポートブック」は障害のある人のための支援ツールとして、保護者が近くにいないときに最低限の安全が守れるように、初めて接する人とより良いコミュニケーションがとれるようにという保護者の願いのもとに、作られ始められるようになりました。

茨城県では平成20年度中に「サポートブック」を作成、一部の支援機関で試行、評価・見直しを行い、平成21年度から本格的に紹介する予定です。

これを受けてASイバラキでは、まずは会員の皆様に「サポートブック」作りを体験していただき、いろいろなご意見を頂戴し、検討委員会のほうへ反映していきたいと思っております。

ただ今ASイバラキオリジナルのワークシートを作成中ですが、講習会の10日前には皆様の下にお送りしたいと思います。講習会当日には各自作られたものを持ち寄り、お互いに意見交換をしたいと思いますので、よろしく願いいたします。以前サポートブックを作られた経験のある方はそちらの方も当日見せていただくとありがたいです。

では下記の要領で講習会を開催いたしますので、皆様奮ってご参加下さい。

記

1. 日時 2月17日(日) 13時～15時
2. 場所 水戸ボランティア会館 大研修室
3. 資料代 300円 (ワークシート及び送料として) 当日集めます。
4. 申し込み方法 事務局までメールまたはFAXで 会員外のかたもどうぞ。

〒住所、氏名、電話番号、パソコンのメールアドレス

以上